

# 校長だより

和歌山市立八幡台小学校

2021.10.21

NO, 5 8

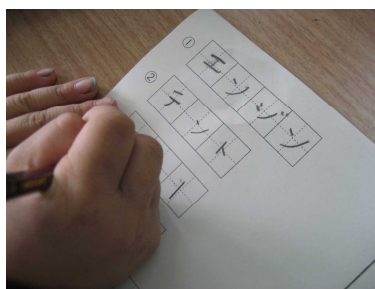
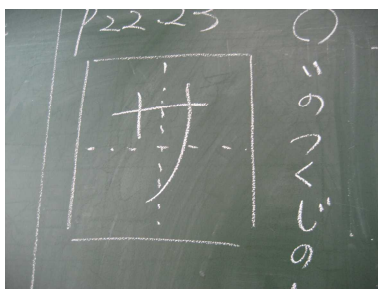
## 「うわあ～～すごい!」「おお～～!」「みえた～～!!!」

校長室で執務中、運動場から悲鳴に似た!? 上にあるような大きな声が聞こえてきました。「なんやなんや!？」と窓から覗いてみると、3年生が遮光板を使って太陽を観察していました。毎日見ているようで見ていない太陽、遮光板を使うと真ん丸のオレンジ色の太陽がはっきり観察できま



す。子どもたちは、実際に太陽を観察

して、先のような声をあげたんですね。子どもたちは、実際に太陽を観察したこの感動をきっと忘れないでしょう。書物からの知識はもちろん大切ですが、実際の体験は強烈に子どもたちの記憶に残ります。授業でも遊びでも、いろいろな体験を大切にしていきたいですね!



1年生がカタカナの勉強をしていました。一文字ずつ丁寧に指導し、それに合わせて子どもたちも一生懸命書いていました。日々、新しいことを学び、たくま

しく成長している子どもたちです。そして、すぐ隣の教室をのぞくと、6年生が理科の学習をしていました。水溶液の学習だったかな、金属が溶け込んだ水溶液について、タブレットにまとめていました。カタカナを学ぶ子どもたちも、5年後は水溶液の学習をしているんですね! 子どもの成長ってすごいなあ!! と、少し感動～～

